

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

# 「運輸区」廃止に反対します！

## 職名・職種・労働組合にこだわろう

千葉支社は3月ダイ改で運輸区全廃（蘇我は24年度下期）・統括センター化を提案しています。千葉運輸区のような規模の大きい職場を統合するという点でも、複数の運輸区を統合するという点でも重大な提案です。  
また、標準数に換算して▲53という乗務員の大合理化攻撃でもあります。

### 労働者の権利への重大な攻撃

提案では、「近隣駅に限定されていた乗務員による駅業務を統括センター内全体に拡大」「企画業務やイベント対応」などが狙いとして示されています。

会社は業務融合化とジョブローテーションによる強制配転攻撃をさらにエスカレートしようとしています。勤務地も業務内容もすべて会社  
の自由——これは労働者の権利を根本から解体

3月ダイ改での乗務員合理化提案	標準数換算	
	運転士	車掌
千葉運輸区	▲4	▲8
習志野運輸区	▲5	▲4
佐倉運輸区	▲2	▲2
成田統括センター（銚子）	▲7	▲2
茂原統括センター（鴨川）		▲4
木更津統括センター（木更津）	▲2	▲5
蘇我運輸区		▲8
合計	▲20	▲33

※標準数は各区ごとに削減される出面数から計算。  
※蘇我運輸区京葉派出は行路移管のため日勤+2、泊+9

する重大な攻撃です。

### 職名廃止・融合化は「労組対策」



職名廃止・融合化・ジョブローテーションの攻撃を進めてきた中心人物が次期社長の喜勢副社長です。

「現場で職名に固執することで組合運動につながることを防ぐ」ことだと語られています。運輸区廃止・統括センター化にも同じ狙いがこめられています。

会社が「労組対策」にここまでこだわるのは職場の団結に施策を打ち破る力があるからです。私たちも職名と労働組合にこだわることで、そして「運輸区廃止反対」の声が必要です。

### 続発する重大事故

会社が職場の団結を攻撃するために、「鉄道を持つIT企業化」などと現場をないがしろにしてきました。その結果、重大事故の続発という形で矛盾があらわれています。鉄道業務の専門的な技術・経験を軽んじる会社のやり方は間違っています。

3月ダイ改・運輸区廃止、業務融合・ジョブローテーション反対の声をあげよう。